

データ駆動型土づくり推進

【令和4年度予算概算決定額 143（-）百万円】

<対策のポイント>

堆肥の施用量の減少等により、農地土壌の劣化がみられる中、簡便な処方箋サービスの創出に向けた**土壌診断データベースの構築**等を支援するとともに、土づくりイノベーションの実装加速化に向け、**生物性評価手法の検証等**の取組を支援し、**科学的データに基づく土づくりを推進する環境を整備**します。

<事業目標>

収量増加効果を含めた土壌診断データベースを構築 [令和4年度まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

水田への堆肥の施用量の減少（30年間で1/4）や、適切な土壌管理に不可欠な土壌診断を実施していない農業者が半数以上存在するなど、農地土壌の劣化が農業生産の持続性向上にとって喫緊の課題となっていることを踏まえ、**科学的データに基づく土づくりを推進する環境を整備**します。

1. 土壌診断データベースの構築

収量向上等に向けた土壌診断を通じた土づくりの取組拡大を図るため、

- (1) 生産者等への**土づくり基礎知識の向上に必要な研修**
- (2) 土壌診断に必要な**分析機器等のリース**
- (3) **土壌分析・診断の実施と改善効果の検証**

に加えて、これらの土壌診断結果をもとに簡便な処方箋サービスを創出するための

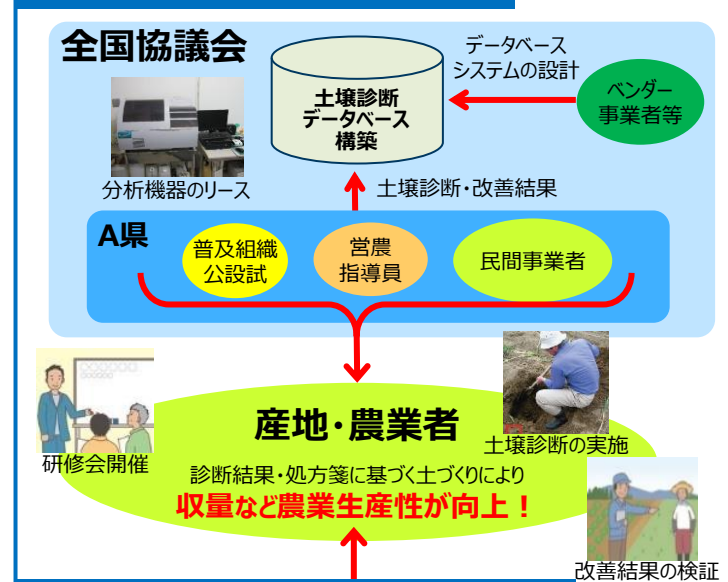
- (4) **土壌診断データベースの構築**等の取組を支援します。

2. 土づくりイノベーションの実装加速化

土づくりイノベーションの実装加速化に向け、

- (1) 新たな評価軸としての土壌の**生物性評価手法**
- (2) ドローン等を用いた**簡便かつ広域的な土壌評価手法**の**生産現場における検証・評価**の取組を支援します。

1. 土壌診断データベースの構築



2. 土づくりイノベーションの実装加速化



科学的データに基づく土づくりを推進する環境を整備

★★★ 簡便な処方箋サービスの創出
 生物性評価による新たな評価軸
 規模拡大に対応した簡便かつ広域的な土壌評価

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農産局農業環境対策課 (03-3593-6495)